

開催日:2022年10月16日(日) 18:00~20:30

会場:Zoomによるオンライン会

参加者:吉平(50C)、阿部(桂)(46修S)、奥山(52E)、鶴岡(44M)、松永(47C)、伊藤(H15C)、佐野(62W)、
関口(48修K)、荒居(39S)、木村(60W)、小林(62P)、阿部(雅)(47修C)、二宗(46M)
森口・中村(四国支部)、荒井(佐野支部)、倉林(平塚支部)、星野(高崎支部)
中村(茨城連合支部) 合計18名

この交流会も今回15回目の開催となり、2年半ほど続いたことになる。

奇数月に開催していた「異業種交流会」が、コロナ禍のせいで開催が困難になったとき、オンラインとのハイブリッド開催をした。ハイブリッド形式で実施してみると、これが好評で「毎月やれ！」とのことで、偶数月に「オンライン交流会」としてスタートしたのが始まりであった。

今回の参加者は、東海連合支部以外に5支部からの参加で、総勢18名で開催した。



今回のミニプレゼンは、幹事の二宗(46M)が行った。今までの人生を振り返り、「第2の人生として新しいモノづくりに挑戦中」というタイトルで、退職後にどのようにして、新たな人や地域との繋がりを築いてきたかを話した。

学生時代の思い出として、工学部の学生大会で、27人の賛成でストライキ権が確立され、桐生駅まで「安保反対、ベトナム戦争反対」を呼びデモをした。全国で学生運動が起こっていた昭和43年当時のことである。

就職は「動くものが作りたい」と、自動車関係の会社でトランスミッションの開発をして、いろいろな会社や人とつながり貴重な体験もした。

退職後、市の「やさしい作り講座」に参加したのがきっかけで、「野菜づくり」を始めた。自分で畑を借りて作り始め、さらに「野菜づくりグループ」にも入った。このグループは野菜づくりだけでなく、地域の子供たちを集めた農の体験会を開いたり、作った野菜を街で販売などもした。

各イベントでの販売では、いろいろな人と会話して人とのつながりができた。

「第2の人生として 新しいモノづくりに 挑戦中」



群大工業会
東海連合支部
オンライン交流会
2022.10.16



S46M 二宗 光文

さらに、市の「健康で幸せなま街づくり」に応募して採択されて活動が広がった。

自分たちで農園を開き、多くの親子に野菜づくりや農を体験してもらい、また街中に野菜販売を開始した。このように活動範囲も広がり、周りの人にも喜ばれてきて、少しは社会貢献していることも感じてきた。

これらのことを、今年の3月にTEDトークとして話したので、プレゼンの最後に12分間のトーク

「目標にとらわれない人生のすすめ」を聴いてもらった。

懇談に入ると、野菜づくり、日本の農業、定年後の選択肢、社会貢献、人との出会いなどの意見が出て幅広い展開になった

野菜づくりをし

ている人も多く、そこから農業に展開して、戦後の農業政策から始まり、現在の課題と対応、スマート農業の進展などの中で、日本の農業をどうしていくのか考える必要ありとのことまで広がった。

定年後は、年金制度で、ある程度の生活保証をしてもらえるから、新しい人生もやれることへの感謝などの意見も出た。

定年後の人生も、現役時代の延長線上での展開と、全く別の分野での人生もあり、人それぞれの思いで作っていくことになるのであろう。



幹事のつぶやき一言

今回は幹事がZoomのホスト役兼プレゼンターとして忙しかった。またPPTの中に動画やYouTubeへリンクをはり、動画再生など新しい試みにも挑戦。少しバタバタしたこともあったが無事プレゼンできた。終了後希望者が残り、個人的な会話も楽しんだ。このように新しいことも取り入れながら、より楽しめる、また参加したくなる会に持っていきたい。
(幹事 二宗 46M)